

説教「新しい生命」

(ヨシュア記 3 章 5-15 節 ルカによる福音書 3 章 15-22 節)

2023 年 1 月 8 日

日本基督教団仙川教会

主日礼拝説教

大串肇

「民衆はメシアを待ち望んでいて、ヨハネについて、もしかしたら彼がメシアではないかと、皆心の中で考えていた。」(ヨハネ 3:15)

皆さん、ルカによる福音書の宣教の場面に最初に登場するのは王や指導者たち、権力者でも、金持ちでもありませんでした。荒れ野で叫ぶ一人の預言者でした。彼こそヨハネであります。彼は放浪者のように荒れ野で生活し、人々に悔い改めのための洗礼を授け、大勢の人々がやってきたのです。イスラエルにとりましては、まさにローマ帝国という外国勢力によって支配された暗黒の時代でした。ヨルダンの、死海の南、そこはかつてソドムとゴモラという町がありました。罪の故に、硫黄と火によって滅ぼされた町です。まさに人間の罪を象徴するかのようなヨルダンの地からヨハネの宣教が始まりました。しかしその第一声はユダヤ人たちには大変厳しい言葉でありました。

結局、イスラエルは「悔い改めにふさわしい実」を結ぶことが出来なかったことです。悔い改めにふさわしい実りとは何でしょうか。それは一言で言えば、神の恵み深い愛の御業に対してわたしたち一人一人が責任を持って応答することです。具体的に言えば、神を信じて、神を愛し、隣人をも愛することへと歩むことがまさに悔い改めにふさわしい実りです。わたしたちもまた「悔い改めにふさわしい実を結べ」という呼びかけが語られているのではないのでしょうか。ほんとうに自分の信仰は大丈夫なのか。不安になってまいります。

さて、15 節から 18 節は別の語り口で語られたヨハネの説教です。ヨハネは再びユダヤ人に向けて語りますが、ここではユダヤ人たちが抱いていた誤った待望について語っています。つまり、本当の救い主は自分では無く、主イエス・キリストであることをヨハネは語ったのです。これはヨハネを通して初めてイエスがメシアであること、キリストであることを公にした記事であります。

「民衆はメシアを待ち望んでいて、ヨハネについて、もしかしたら彼が

メシアではないかと、皆心の中で考えていた。そこで、ヨハネは皆に向かって言った。「わたしはあなたたちに水で洗礼を授けるが、わたしよりも優れた方が来られる。わたしは、その方の履物のひもを解く値打ちもない。その方は、聖霊と火であなたたちに洗礼をお授けになる。そして、手に箕を持って、脱穀場を隅々まできれいにし、麦を集めて倉に入れ、殻を消えることのない火で焼き払われる。」

同じような神の言葉を語る預言者のような、また洗礼を授ける意味では同じような洗礼者でありながら、ヨハネとキリストとの決定的な違いは、ヨハネは水に過ぎないが、主イエス・キリストは「聖霊と火」とによって人々に洗礼を授けるところにあります。

「火」という言葉がここで用いられています。9節には悔い改めの実を結ばない木は切り倒されて火で焼かれます。17節にも不要となったもみ殻が焼かれます。旧約聖書でも火は神の審判のイメージとして用いられているので、ここにもイスラエルがやがてローマ軍によって滅ぼされ、エルサレム神殿が炎上する光景が背後にあるのかもしれませんが。しかしながらこの「火」はむしろここでは審判の炎というよりも、聖霊が降ってくるイメージとして描かれています。それが使徒言行録2章の聖霊降臨（ペンテコステ）の出来事でありました。

五旬祭の日が来て、一同が一つになって集まっていると突然、激しい風が吹いて来るような音が天から聞こえ、彼らが座っていた家中に響いた。そして、炎のような舌が分かれ分かれに現れ、一人一人の上にとどまった。すると、一同は聖霊に満たされ、“霊”が語らせるままに、ほかの国々の言葉で話した。

（使徒言行録2章1 - 4節）

こうして聖霊が使徒たち一人一人の上を下り、使徒たちは世界伝道へ遣わされるのです。主の福音は全世界へ宣べ伝えられたのです。これはまさに神の眼には見えない聖霊の働きであります。こうしてヨハネは「ほかにもさまざまな勧めをして、民衆に福音を告げ知らせた」（18節）のです。

ヨハネはこのあとヘロデの迫害を受けることとなります。そういう苦難の最中にありましても、最後まで主イエス・キリストの福音を証続けた宣教者ヨハネの姿こそ、ルカ福音書の聴衆である最初のキリスト教共同体の姿であり、聖霊がわたしたちの内に働きかけ、洗礼へと導き、罪を悔い改め、隣人を愛し福音をのべ伝える力となることを証しているのです。この聖霊の働きこそ、教会

の生きた原動力であることをルカ福音書は今朝わたしたちに伝えています。

あのマリアは聖霊によって御子イエスを身ごもりました。そして今、イエスも洗礼を受け、「天が開け、聖霊が鳩のように目に見える姿でイエスの上に降って来た」(21 - 22 節) とあるように、聖霊を受けてガリラヤ伝道へと遣わされるのです。

洗礼をうけたわたしたちは、いつも「悔い改めにふさわしい実りを結ぶ」ことへ招かれています。聖霊をさらに祈り求め、神さまのために、また隣人のために仕えることが出来るように祈りたい。またまだ洗礼を受けていない方には、どうか聖霊がわたしたちの欲望や罪を焼きつくすかのように清めてくださるように、主イエス・キリストの洗礼を受けることが出来ますようにご一緒に祈りたいのです。お祈りいたしましょう。